

授業科目	社会調査の基礎				単位	2		
履 修	選択	関連資格	社会福祉士		ナンバリング	WE31203J		
開講年次	4	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP2-1 DP2-2			
担当教員	杉谷 修一							
授業概要	本講義では社会調査の意義と目的および方法の概要について理解することを目標とする。社会調査は社会的存在としての個人から制度にいたる幅広い対象を量的・質的なデータとして把握しようとするものである。それらの特徴を区別・理解した上で、適切な社会調査を行うための実践的基礎を養う。また、社会調査をめぐる倫理上の諸問題を検討し、社会調査に携わる者としての最低限必要とされる倫理的態度と方法を学ぶ。							
学生が達成すべき行動目標	1.社会調査の意義と目的について理解することができる。 2.社会調査と社会福祉の歴史的関係について理解することができる。 3.社会調査における倫理や個人情報について理解することができる。 4.量的調査の方法及び調査結果について適切に理解することができる。 5.質的調査の方法及び調査結果について適切に理解することができる。 6.ソーシャルワークにおける評価の意義と方法について理解することができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	80						80	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10						10	
思考・判断 (DP2-2)	10						10	
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
1.社会調査の意義と目的について十分理解することができる。 2.社会調査と社会福祉の歴史的関係について十分理解することができる。 3.社会調査における倫理や個人情報について十分理解することができる。 4.量的調査の方法及び調査結果について適切に理解することができる。 5.質的調査の方法及び調査結果について適切に理解することができる。				1.社会調査の意義と目的に概略について理解することができる。 2.社会調査と社会福祉の歴史的関係の概略について理解することができる。 3.社会調査における倫理や個人情報の概略について理解することができる。 4.量的調査の方法及び調査結果の基礎について理解することができる。 5.質的調査の方法及び調査結果の基礎について理解することができる。				

6.ソーシャルワークにおける評価の意義と方法について十分理解することができる。		6.ソーシャルワークにおける評価の意義と方法の基礎について理解することができる。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:社会調査の意義と目的・統計法 社会調査の意義と目的について概観する。また、統計法の目的と特徴について学ぶ。	講義	復習	60
2	テーマ:社会調査における倫理と個人情報保護 社会調査において求められる倫理と個人情報保護に関する具体的なあり方について学ぶ。	講義	復習	60
3	テーマ:社会調査の基礎的プロセス 社会調査と社会理論の関係および社会調査のデザイン・実施プロセスの基礎について学ぶ。	講義	復習	60
4	テーマ:社会調査の目的と対象 社会調査の目的と対象の関係、それに伴うサンプリング、データ収集の種類と特徴について学ぶ。	講義	復習	60
5	テーマ:量的調査の種類と方法 量的調査の種類と方法について、どのような場面で用いられるかに着目して学ぶ。	講義	復習	60
6	テーマ:質問紙の作成方法と留意点 調査依頼の重要性、質問紙のワーディングについて学ぶ。	講義	復習	60
7	テーマ:尺度水準 4つの尺度水準の特徴とその具体例について学ぶ。	講義	復習	60
8	テーマ:質問紙の配布と回収 質問紙の配布と回収についての特徴と適切な選択のあり方について学ぶ。	講義	復習	60
9	テーマ:量的調査の集計と分析(1) 集計・分析の特徴およびデータ概要の把握方法について学ぶ。	講義	復習	60
10	テーマ:量的調査の集計と分析(2) 統計的推論の種類と使い方について学ぶ。	講義	復習	60
11	テーマ:質的調査の概要 質的調査の概要とサンプリングの特徴について学ぶ。	講義	復習	60
12	テーマ:観察法と面接法 観察法と面接法の種類と特徴について学ぶ。	講義	復習	60
13	テーマ:記録方法 質的調査の記録方法の種類と特徴について学ぶ。	講義	復習	60
14	テーマ:質的調査の分析方法 質的調査の分析方法の種類と特徴について学ぶ。	講義	復習	60
15	テーマ:まとめ ソーシャルワークにおける評価の意義・対象・方法等について学び、これまでの講義の振り返りを行う。	講義	復習	60
16				
17				

18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	データ分析については、高校段階までに学習した基礎的な数学の知識をもとに進めていく。難しい計算を行うなどの技能は要求されないが、データを通じて集団をイメージし、白か黒かではなく確からしさを数字で判断しながら読み解いていく感覚が必要となる。			
テキスト	日本ソーシャルワーク教育学校連盟編 『最新 社会福祉士・精神保健福祉士養成講座5 社会福祉調査の基礎』 中央法規			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業ではテキストの理解を補足するレジュメなどの資料を配布する。授業の GoogleClassroom にも掲示するので各自ダウンロードしておくこと。 ※総務省統計局「なるほど統計学園」初級・上級 https://www.stat.go.jp/naruhodo/index.html ※総務省政策統括官(統計基準担当) 「生徒のための統計活用」及び「高校からの統計・データサイエンス活用 上級編」 https://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/info/guide/stkankyo.htm			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	社会福祉の対象となる個人や集団を調査によって把握・理解するための基礎的方法を学ぶ授業である。このような対象にはこの方法、この方法にはこのような長所と短所があるなど、使用場面や限界などを具体的にイメージしながら学んでほしい。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	基礎的用語の暗記だけでなく、概念の特徴や使い方など、より応用的・実践的な理解までバランスよく出題する。試験内容は授業中に指示する。 テスト結果はクラスルームを通じ、全体的なコメント及び評価点分布図を提示する。			

